

令和 4 年 5 月 23 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H03450

研究課題名(和文) タイを中心とする大陸部東南アジアの地域協力枠組みと日中の競合関係

研究課題名(英文) Regional Cooperation in Mainland Southeast Asia as Thailand is a Center and Economic Rivalry between Japan and China

研究代表者

末廣 昭 (SUEHIRO, AKIRA)

学習院大学・国際社会科学部・研究員

研究者番号：60196681

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 8,580,000円

研究成果の概要(和文)：大陸部東南アジアのカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム(CLMV)において展開されている重層的な地域協力を、アジア開発銀行の「大メコン圏開発(GMS)」、中国の「一帯一路イニシアチブ(BRI)」、日本の「質の高いインフラ支援」、タイの「東部経済回廊(EEC)」の4つの動向から検討し、中国、日本、タイの3か国の間にみられる競合と協調のダイナミズムを明らかにした。研究は文献にもとづく共同研究と同時に、ミャンマー＝タイ、中国昆明＝ベトナムの経済回廊の実地踏査も実施し、知見を深めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

大陸部東南アジア(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)を舞台とする経済協力については、アジア開発銀行(ADB)の「大メコン圏(GMS)開発」が最も有名であるが、GMSの動向を、事業対象国であるCLMVとタイで、中国と日本との間の経済協力をめぐる競合と協調の関係で捉えた研究は皆無である。また、メンバーはタイ語、ミャンマー語、中国語など現地語を理解する地域研究者と、日本の外交政策(国際政治)を専門とする研究者との共同研究であり、この地域で展開されている地域協力の重層的で複雑な経済協力の実態を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This project aimed to explore multilateral regional cooperation in Mainland Southeast Asia (Cambodia, Laos, Myanmar, Vietnam) from the four significant movements including 1) Greater Mekong Sub-region (GMS) initiated by ADB, 2) Belt & Road Initiative policy promoted by China, 3) high-quality infrastructure support by the Japanese government and 4) Eastern Economic Corridor (EEC) in Thailand, and then examined rivalry and cooperation among China, Japan and Thailand. In addition to documentary research, we also conducted field surveys in Myanmar = Thailand and China Kunming = Vietnam to deepen our understandings on the situation in this region.

研究分野：地域研究

キーワード：重層的な地域協力 地域の中国化 ASEANの連結性 日中の経済的競合 新型コロナウイルス

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

本研究は、**2007**年度から**2016**年度まで継続した人間文化研究機構(**NIHU**)の「現代中国研究拠点事業」(第**1**期と第**2**期)のうち、東京大学社会科学研究所が分担した「現代中国経済」の研究プロジェクトを引き継ぐものである。とくに共同研究の代表者である末廣が当時主査をつとめた「中国**ASEAN**貿易班」では、東南アジアに向かう中国の対外経済活動を、中国側からではなく、受入国である大陸部東南アジア諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム=**CLMV**とタイ)の側から見ていくという視点を設定した。

その後、**2013**年からは中国の「一帯一路イニシアティブ」戦略が本格化し、雲南省の昆明を起点にベトナム、ラオス+タイ、ミャンマー+バングラデシュへと向かう高速鉄道の建設構想や、中国南部と大陸部東南アジアを結ぶ経済回廊の構想が浮上した。一方、日本は大陸部東南アジアで影響力を増す中国に対抗するために、「質の高いインフラ支援」の方針を打ち出し、円借款を使って産業インフラの整備を図っていく。また、**2016**年からは、タイが「中所得国の罨」を脱却し、**2036**年までに「高所得国」への仲間入りを図るための「**Thailand 4.0**」の構想を打ち出し、その一環として東部タイの新たな開発戦略(東部経済回廊**EEC**開発)を公表した。この**EEC**開発は高速鉄道、高速道路、深港、国際空港の建設といったインフラ整備だけでなく、電気自動車やバイオなど新世代産業への外資の誘致やデジタル経済の推進を目的としていた。そのため、**EEC**への投資をめぐる、**2016**年から中国と日本(政府と企業)の間で激しい競争関係が生まれると同時に、タイや**CLMV**の開発事業のなかで中国と日本の間の共同事業の模索も始まった。

以上のように、本研究を開始する**2018**年頃には、タイを含む大陸部東南アジアで中国、日本、タイなどが対外経済活動を活発化させており、多種多様な地域協力の構想が並立していた。その後、米中の経済対立(貿易摩擦)の激化に伴う中国企業の東南アジア進出の積極化や、新型コロナウイルスをめぐる中国のワクチン外交などが加わることで、大陸部東南アジアをめぐる中国、日本、米国、タイなどの間の「競合と協調の構図」は、ますます複雑な様相を呈した。

## 2. 研究の目的

本研究は、大陸部東南アジアで展開されているさまざまな地域協力構想の背景とその実態を分析することで、中国と日本の間の経済的覇権争いの現状と今後について展望することを目的とする。多様な地域協力構想の中には、アジア開発銀行が主導する「大メコン圏(**GMS**)開発協力」、中国が展開する「瀾滄江・メコン川対話協力(**LMC**)」や「一帯一路イニシアティブ(**BRI**)」戦略、日本が経済協力の一環として進めている「質の高いインフラ支援」や「日本メコン協力(**JMC**)」、タイ政府が進める「東部経済回廊(**EEC**)開発」、機構として**ASEAN**が先発メンバー**5**か国と後発の**CLMV**の間の格差是正を目指す「**ASEAN**統合イニシアティブ(**IAI**)」、インドが主導するメコン・ガンガ協力(**MGC**)などを含む。このうち、本研究で取り上げるのは、からまでであり、この**4**つの地域協力構想と、その構想に沿って活動を展開する中国、日本、タイの具体的な動きを追うことで、大陸部東南アジアにおける対外経済関係のダイナミズムを明らかにする。その場合、重層的な地域協力、地域の連結性(**connectivity in the region**)、地域の中国化(**Sinicization**)をキーワードにして、理論的かつ実証的分析を進めていく。

## 3. 研究の方法

研究の方法は、主としてメンバーによる共同研究と**GMS**、**BRI**、**EEC**などの展開を実地

で踏査する現地査の2つである。本研究のメンバーは、タイ、ミャンマー、ベトナム、中国を分析対象とする地域研究者、アジア諸国や中国の貿易を研究する経済グループ、日本の外交戦略やタイの外交戦略を専門とする国際政治グループの3つのグループからなる。そのため、共同研究は主としてメンバーによる報告を中心に行ったが、中国の対外経済戦略（一帯一路構想）、ラオスにおける中国の高速鉄道建設、カンボジアと中国の関係などについては、必要に応じて外部の専門家を招聘し報告を受けた。また、新型コロナウイルスが発生してからは、研究会はオンライン研究会に切り替えた。2018年度は計8回、2019年度は計7回、2020年度は計8回、2021年度は計9回、研究会を開催した。また、新型コロナ禍が東アジアに与える影響については、私たちの共同研究チームと、東京大学社会科学研究所の「現代中国研究拠点事業」が連携して、オンライン・シンポ（一般公開）を実施した。

一方、現地調査のほうは、2018年度にミャンマーのヤンゴンからパゴー工業団地を通過してタイの国境ミヤワディーまで陸路で行き、その後、国境を超えてタイのメーソットに入り、スコタイからバンコクへ南下するGMSの東西経済回廊と南北回廊を実地踏査した。同じく、2019年度は、中国雲南省の昆明（昆明南駅）から新幹線に乗って弥勒まで南下し、そこから車を借り上げてベトナムとの国境・河口まで陸路で移動し、ベトナムとの国境を超えてラオカイに入り、さらにハノイまで通じるGMSの南北経済回廊の実地踏査を行った。この2つの実地踏査の詳しい記録は、「大メコン圏（GMS）経済回廊の実走記録：南北経済回廊・東西経済回廊・南の経済回廊」（末廣昭・助川成誠也・宮島良明著）『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略：タイとCLMV・中国・日本』（2020年、3-38頁）に示しておいた。

2020年度は、中国の昆明を起点に中国とラオスの国境であるボーテンまで鉄道を使っていき、そこからピエンチャンまで中国の資金援助で建設が進んでいる高速鉄道を視察する予定であったが、新型コロナウイルスによる渡航制限で断念をせざるを得なかった。

#### 4. 研究成果

本研究の成果は、まず2018年に末廣昭・田島俊雄・丸川知雄編『中国・新興国ネクサス：新たな世界経済循環』（東京大学出版会）を刊行し、メンバーの伊藤亜聖（一帯一路構想）、末廣昭（中国と東南アジア）、大泉啓一郎、宮島良明（連名で中国・ASEAN貿易）が、それぞれ寄稿した。次いで、2019年には財団法人日タイ協会の『タイ国情報』に、メンバーのうち6名が連載で寄稿した。また、2020年3月には、メンバー9名全員で、『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略：タイとCLMV・中国・日本』（東京大学社会科学研究所、現代中国研究拠点研究シリーズ No.21, 283頁）を刊行した。この成果報告書には、先述したように、実地踏査の詳しい記録と同時に、タイと中国・CLMV（4本）、日本の戦略（2本）、タイからの視座（4本）、中国からの視座（2本）の4つの視点から、共同研究のテーマに接近した。なお、この報告書は、私たちのチームがNIHUの事業として過去、東京大学社会科学研究所から刊行してきた4つの報告書と補完関係にある（研究シリーズ No.1, 同 No.3, 同 No.7, 同 No.13）。

2019年1月には雲南大学の畢世鴻教授を2週間、学習院大学に客員研究員として招聘し、中国と東南アジアの経済関係について公開の報告会を実施した。また、2020年4月15日には、東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点と共同でオンライン・シンポジウム「コロナショックとアジア政治経済」を開催し、メンバーの末廣昭、宮島良明、畢世鴻、坂田正三が報告を、また、伊藤亜聖が司会を行った。このときの報告内容はのち『コロナ以後の東アジア：変動の力学』（東京大学出版会、2020年9月）に収録されている。

以上のほかに、2021年9月には末廣昭と伊藤亜聖が福岡ユネスコ協会の招きで福岡市で「コロナ経済禍のアジア経済と中国」について講演を行った。その内容は2022年に本として刊行される（弦書房）。また、研究会のメンバーは研究期間中に約100本の論文を発表した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計97件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 32件）

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 -
2. 論文標題 現代の経済・社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 飯島明子・小泉順子編『世界歴史体系 タイ史』山川出版社	6. 最初と最後の頁 352-422
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 -
2. 論文標題 アジアとコロナ危機：アジア通貨危機との比較	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点『コロナ以後の東アジア』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 19-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 亜聖	4. 巻 -
2. 論文標題 コロナ以後のアジア：2020年上半期の複眼的記録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点『コロナ以後の東アジア』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 11-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 第106号
2. 論文標題 経済開発と社会的公正：タイの経験	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北海学園大学開発研究所『開発論集』	6. 最初と最後の頁 307-314
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後日本のODA（政府開発援助）と荒木光弥	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 末廣昭ほか『国際協力の戦後史』東洋経済新報社	6. 最初と最後の頁 260-280
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oba, Mie	4. 巻 -
2. 論文標題 Japan's Quest for an Autonomous Role in East Asian Regionalism	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Lam Peng Er & Pumendra Jain (eds.), Japan's Foreign Policy in the Twenty-First Century: Continuity and Change, Lexington Book.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高原明生・大庭三枝	4. 巻 -
2. 論文標題 冷戦後期から世紀末の国際関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 田中明彦・川島真編『20世紀の東アジア史I：国際関係史概論』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大庭三枝	4. 巻 第66巻第4号
2. 論文標題 日・東南アジア間の歴史認識を巡る諸相	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア研究（アジア政経学会）	6. 最初と最後の頁 68-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 巻 第49号
2. 論文標題 第二次世界大戦中のバンコクにおける日本軍駐屯地の変遷：タイ軍最高司令部文書を中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東南アジア：歴史と文化	6. 最初と最後の頁 125-147
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 巻 第20号
2. 論文標題 第2次世界大戦中のバンコクにおける日本人による騒動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 年報タイ研究	6. 最初と最後の頁 93-110
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 巻 第72巻第1・2号
2. 論文標題 第2次世界大戦中のタイにおける日本軍と窃盗（上）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 横浜市立大学論叢	6. 最初と最後の頁 29-71
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 巻 第72巻第1・2号
2. 論文標題 第2次世界大戦中のタイにおける日本軍と窃盗（下）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 横浜市立大学論叢	6. 最初と最後の頁 1-57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 タイの外交政策と生存戦略：バランスと国益の追求	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北岡伸一編『西太平洋連合のすすめ：日本の「新しい地政学」』東洋経済新報社	6. 最初と最後の頁 136-163
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大庭三枝	4. 巻 第65巻第6号
2. 論文標題 インド太平洋とQuad；連携の進展の意味するもの	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 世界経済評論	6. 最初と最後の頁 6-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 工藤 年博	4. 巻 -
2. 論文標題 ポスト軍政のミャンマー：「民主化」、経済成長、クーデター	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北岡伸一編『西太平洋連合のすすめ：日本の「新しい地政学」』東洋経済新報社	6. 最初と最後の頁 164-200
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大庭 三枝	4. 巻 -
2. 論文標題 アジア地域主義の展開の中の西太平洋連合	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北岡伸一編『西太平洋連合のすすめ：日本の「新しい地政学」』東洋経済新報社	6. 最初と最後の頁 453-479
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木 まき	4. 巻 第771号
2. 論文標題 タイ：反政府デモはどこへ向かうか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際開発ジャーナル	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川 成也	4. 巻 第66巻第2号
2. 論文標題 15か国で推進するRCEPの意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界経済評論	6. 最初と最後の頁 51-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sukegawa, Seiya	4. 巻 Vol.10, Issue 1
2. 論文標題 ASEAN's Initiatives for Free Trade in East Asia under AEC	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Contemporary East Asia Studies (Waseda University)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川 成也	4. 巻 -
2. 論文標題 ASEANの経済統合とAFTA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 石川幸一編『創設50周年を迎えたASEANの課題と展望』亜細亜大学	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 助川 成也	4. 巻 通巻188号
2. 論文標題 ASEANの自由貿易地域（AFTA）構築作業とその課題：ASEAN経済共同体（AEC）の下での自由貿易イニシアチブ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 政経論叢（国士舘大学政経学会）	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川 成也	4. 巻 -
2. 論文標題 コロナ危機で問われた真のASEAN統合	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 石川幸一ほか編著『岐路に立つアジア経済：米中対立とコロナ禍への対応』文真堂	6. 最初と最後の頁 176-194
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川 成也	4. 巻 第69巻9・10号
2. 論文標題 東南アジアの感染拡大とサプライチェーンの危機	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 131-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川 成也	4. 巻 第709号
2. 論文標題 RCEPでタイのビジネス環境はどう変わるか：RCEPの概要とタイへの影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 所報（盤谷日本人商工会議所）	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉 啓一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 コロナショックで加速するアジアのデジタル経済化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 石川幸一ほか編著『岐路に立つアジア経済：米中対立とコロナ禍への対応』文眞堂	6. 最初と最後の頁 237-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉 啓一郎	4. 巻 第55号
2. 論文標題 中国の高齢化と経済を東アジアのなかで考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国21 (愛知大学現代中国学会編)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎・伊藤亜聖・金成垣	4. 巻 第48号
2. 論文標題 アジア経済社会のデジタル化をどう捉えるか? 発展戦略・労働市場・行政サービス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 紀要 (亜細亜大学アジア研究所)	6. 最初と最後の頁 11-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木 まき	4. 巻 第71号
2. 論文標題 ASEAN「民主主義問題」の複層性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 外交 (外務省)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木まき・高橋尚子	4. 巻 -
2. 論文標題 2010-2019年のタイ：階層間対立の表面化と構造的経済課題への取り組み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア経済研究所編『アジア動向年報 2010-2019：タイ編』日本貿易振興機構アジア経済研究所	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田 正三	4. 巻 第67巻第4号
2. 論文標題 ベトナムにおける感染症と情報発信のポリティクス	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア研究（アジア政経学会）	6. 最初と最後の頁 72-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭・助川成也・宮島良明	4. 巻 第21号
2. 論文標題 大メコン圏（GMS）経済回廊の実走記録：南北経済回廊・東西経済回廊・南の経済回廊	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 3-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 第21号
2. 論文標題 アジアのゲートウェイを目指すタイ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 39-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 第21号
2. 論文標題 東部経済回廊EECと中国との戦略的提携	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 61-90
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第21号
2. 論文標題 ASEAN経済共同体で変わるタイとGMSの関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 91-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大庭三枝	4. 巻 第21号
2. 論文標題 新たな地域経済秩序の模索と日本の地域戦略	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』	6. 最初と最後の頁 117-134
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第21号
2. 論文標題 日本企業のタイプラスワン戦略と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 135-148
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 青木まき	4. 巻 第21号
2. 論文標題 タイ国内における「メコン地域」概念の形成とその動機	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 151-170
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 第21号
2. 論文標題 タイと中国の鉄道協力：高速鉄道計画をめぐる思惑の不一致	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 171-206
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第21号
2. 論文標題 タイプラスワンの視点から見たミャンマー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 207-222
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明	4. 巻 第21号
2. 論文標題 転換期を迎えるタイと中国・CLMVの貿易	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』（現代中国研究拠点研究シリーズ No.21）	6. 最初と最後の頁 223-240
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畢世鴻	4. 巻 第21号
2. 論文標題 中国研究者は「一帯一路」構想と日中両国の第三国市場協力をどう見ているのか?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』(現代中国研究拠点研究シリーズ No.21)	6. 最初と最後の頁 243-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 巻 第21号
2. 論文標題 中国のデジタルエコノミーはアジアをどう変えるか?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略』(現代中国研究拠点研究シリーズ No.21)	6. 最初と最後の頁 267-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito, Asei	4. 巻 Vol.36, No.2
2. 論文標題 China's Belt and Road Initiative and Japan's Response: From Non-participation to Conditional Engagement	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 East Asia	6. 最初と最後の頁 115-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito, Asei	4. 巻 Vol.26, No.2
2. 論文標題 Digital China : A Fourth Industrial Revolution with Chinese Characteristics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Review	6. 最初と最後の頁 50-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oba, Mie	4. 巻 Vol.8, No.2
2. 論文標題 The Further Development of Asian Regionalism: Institutional Hedging in an Uncertain Era	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Contemporary East Asian Studies	6. 最初と最後の頁 125-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/24761028.2019.1688905	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木まき	4. 巻 シリーズ32
2. 論文標題 選挙をめぐる対立とその帰結：2019年下院総選挙結果の考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『タイ2019年総選挙：軍事政権の統括と新政権の展望』	6. 最初と最後の頁 15-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki-Okabe, Maki	4. 巻 Vol.2, Issue 1
2. 論文標題 Cooperation with Whom and for What?: Japan's Mekong Development Policy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Greater Mekong Studies	6. 最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oizumi, Kei'ichiro	4. 巻 なし
2. 論文標題 Agricultural Products and Foods Trade in the ASEAN Region	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Structural Changes of Agriculture in the CLMVT Countries and Their Socio-Economic Impact, BRC Research Report	6. 最初と最後の頁 2-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明	4. 巻 第103号
2. 論文標題 インバウンドブームと北海道観光：訪日外国人観光客急増の背景と今後の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 開発論集（北海学園大学開発研究所）	6. 最初と最後の頁 77-95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明	4. 巻 第67巻第3号
2. 論文標題 新興アジアとインバウンド観光：G20観光大臣会合の北海道倶知安町開催に寄せて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済論集（北海学園大学経済学部）	6. 最初と最後の頁 27-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 第71巻第1・2号
2. 論文標題 第2次世界大戦中のタイにおける日本軍と交通事故（上）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 横浜市立大学論叢	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15015/00001748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 第688号
2. 論文標題 進展するタイの鉄道インフラ整備：在来線の複線化と高速鉄道計画	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 所報（盤谷日本人商工会議所）	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第174号
2. 論文標題 デジタル化するアジア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 所報（亜細亜大学アジア研究所）	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第175号
2. 論文標題 タイランド4.0と少子高齢化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 所報（亜細亜大学アジア研究所）	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第177号
2. 論文標題 変わる中国とASEANの貿易関係：ベトナムの台頭の意味するもの	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 所報（亜細亜大学アジア研究所）	6. 最初と最後の頁 10-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第60巻第1号
2. 論文標題 ASEANと中国との自由貿易地域（ACFTA）構築作業とその新展開	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『経済学論纂』中央大学経済学研究会	6. 最初と最後の頁 99-113
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 なし
2. 論文標題 RCEPと日本の東アジア生産ネットワーク	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『アジアの経済統合と保護主義：変わる通商秩序の構図』	6. 最初と最後の頁 87-111
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第66巻第2号
2. 論文標題 15カ国で推進するRCEPの意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『世界経済評論』	6. 最初と最後の頁 51-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 シリーズ32
2. 論文標題 ブラット政権の経済政策：軍事政権期の評価と今後の展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『タイ2019年総選挙：軍事政権の統括と新政権の展望』	6. 最初と最後の頁 97-122
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 研究シリーズNo.101
2. 論文標題 ASEANの経済統合とAFTA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『創設50周年を迎えたASEANの課題と展望』（亜細亜大学アジア研究所）	6. 最初と最後の頁 111-138
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第186号
2. 論文標題 タイ・ブラユット政権の投資政策とその評価：タイランド4.0と東部経済回廊（EEC）の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『政経論叢』 国土館大学政経学会	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 第85巻第4号
2. 論文標題 「「中所得国の罣」の克服 「Thailand 4.0」とタイ大企業の対応能力」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法政大学『経済志林』	6. 最初と最後の頁 67-129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 2018年4月
2. 論文標題 「地域研究の視座から 情報の質を保証し、母集団を確定する」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『学術の動向』	6. 最初と最後の頁 14-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 末廣 昭	4. 巻 第52巻第3号
2. 論文標題 タイランド4.0、東部経済回廊、一帯一路イニシアティブ」（連載「タイと中国・CLMV」第3回）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suehiro, Akira	4. 巻 20
2. 論文標題 " Kapitalakkumulation und Reichtum in Thailand, "	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Zeitschrift fur Politik, Kultur, Dialig, Online Journal.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akira Suehiro	4. 巻 December
2. 論文標題 " Responses to the Middle-Income Trap in China, Malaysia, and Thailand "	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerging States at Crossroads, Springer	6. 最初と最後の頁 27-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 -
2. 論文標題 「東南アジアに南進する中国」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国・新興国ネクサス 新たな世界経済循環』	6. 最初と最後の頁 99-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 No.745
2. 論文標題 「中国南下で激動するアジアの地域秩序 強まるインドシナ半島への影響力」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際開発ジャーナル	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末廣昭	4. 巻 -
2. 論文標題 「アジア経済論4.0 キャッチアップ型工業化論からデジタル経済論へ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『2018年度開発研究所研究会記録集』北海学園大学開発研究所	6. 最初と最後の頁 43-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明	4. 巻 第52巻第2号
2. 論文標題 「転換期を迎えるタイと中国・CLMVの貿易」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 19-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明・大泉啓一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「深化・分化する中国・ASEAN貿易」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国・新興国ネクサス - 新たな世界経済循環』	6. 最初と最後の頁 137-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮島良明	4. 巻 第103号
2. 論文標題 「インバウンドブームと北海道観光：訪日外国人観光客急増の背景と今後の課題」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『開発論集』（北海学園大学開発研究所）	6. 最初と最後の頁 77-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 第52巻第3号
2. 論文標題 「タイにおける日本製鉄道車輛 蒸気機関車から新幹線へ (下)」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 72-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 第52巻第5号
2. 論文標題 「タイと中国の鉄道協力 中速 / 高速鉄道計画をめぐる思惑の不一致」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柿崎一郎	4. 巻 人文科第70巻第1号
2. 論文標題 「タイの国際交通網整備 1994～2015年 バンコク中心型交通網の外延的拡大 (上)」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『横浜市立大学論叢』	6. 最初と最後の頁 25-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖・高口康太	4. 巻 No. 19
2. 論文標題 『中国14億人の社会実装 「軽いIoT」が創るデジタル社会』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点・研究シリーズ	6. 最初と最後の頁 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 巻 第13巻第1号
2. 論文標題 「イノベーション加速都市・深セン「新興国×テック」の時代に日本はどう取り組むのか？」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『日立総研』	6. 最初と最後の頁 16-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 巻 第52巻第3号
2. 論文標題 「中国のデジタルエコノミーはアジアをどう変えるか？」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 19-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 巻 -
2. 論文標題 「中国・新興国ネクサスと「一带一路」構想」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『中国・新興国ネクサス 新たな世界経済循環』	6. 最初と最後の頁 17-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 巻 2019年2月号
2. 論文標題 「デジタルチャイナ 「第四次産業革命」の中国的展開」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東亜』	6. 最初と最後の頁 92-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 『新・貿易立国論』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文春新書	6. 最初と最後の頁 264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉 啓一郎	4. 巻 Vol.2, No.53
2. 論文標題 「デジタル時代の農産物・食品輸出促進を考える - オープンデータと越境EC活用で東アジア市場を開拓する」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本総合研究所『JRIレビュー』	6. 最初と最後の頁 99 119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第85巻第4号
2. 論文標題 「人口ボーナス論再考 人口構成から経済成長・開発課題を考える」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法政大学『経済志林』	6. 最初と最後の頁 551 572
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 2018年10月号
2. 論文標題 「人口動態とデジタル化が変えるアジア」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『東亜』	6. 最初と最後の頁 82-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 大泉啓一郎	4. 巻 第52巻第5号
2. 論文標題 「日本企業のタイプラスワン戦略と課題」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 24-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第2巻
2. 論文標題 「岐路に立つ世界の開発協力」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『JFIR WORLD REVIEW』	6. 最初と最後の頁 118-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第184号
2. 論文標題 「ASEANにおける日本企業のFTA利用状況と課題」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『政経論叢』(国土館大学)	6. 最初と最後の頁 79-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第52巻6号
2. 論文標題 「タイ・プラスワンの視点から見たミャンマー」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 助川成也	4. 巻 第86号
2. 論文標題 「ASEAN経済共同体（AEC）2025での物品貿易自由化に向けた取り組み」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ITI調査研究シリーズ	6. 最初と最後の頁 19-40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木まき	4. 巻 第52巻第4号
2. 論文標題 「タイ国内における『メコン地域』概念の形成とその動機」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 14-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Kudo and Satoru Kumagai	4. 巻 -
2. 論文標題 Toshihiro Kudo and Satoru Kumagai. "Development and Regional Balance: Developmental State-Building in Myanmar",	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Politics of Emerging Economies	6. 最初と最後の頁 135-156
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 大庭 三枝	4. 巻 第46巻第3号
2. 論文標題 日本のインド太平洋構想	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『国際安全保障』	6. 最初と最後の頁 12-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大庭 三枝	4. 巻 第52巻第4号
2. 論文標題 「新たな地域経済秩序の構築と日本の地域戦略」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『タイ国情報』	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mie Oba	4. 巻 -
2. 論文標題 "Japan 's Contribution to Fostering multilateralism in Asia "	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Multilateralism in A Changing World Order	6. 最初と最後の頁 71-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計18件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 宮島 良明
2. 発表標題 コロナショックの観光への影響とコロナ後のインバウンド戦略
3. 学会等名 余暇ツーリズム学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大庭三枝
2. 発表標題 新型コロナ危機下のASEAN協力
3. 学会等名 アジア政経学会 (秋季大会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Oba, Mie
2. 発表標題 Major Power's Multilateral Engagement to Support Globalization in East Asia
3. 学会等名 National Committee on American Foreign Policy (NCAFP) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Oba, Mie
2. 発表標題 The Divergent Expectations for the CPTPP: What Did the 11 Negotiating Countries Anticipate?
3. 学会等名 International Political Science Association (The 26th World Congress of Political Science) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Suehiro, Akira
2. 発表標題 Alternatives for Thailand's Development: Modernization of the State vs. Social Development
3. 学会等名 International Conference of Thai Studies (The 14th) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 青木まき
2. 発表標題 Thailand in the Era of a Mekong Development Boom: Japan vs. China and Signs of Cooperation
3. 学会等名 Association of Asian Studies Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akira Suehiro
2. 発表標題 “ International Symposium for the JATS 20th Anniversary: Reassessment of Economic and Social Policies in Contemporary Thailand ”
3. 学会等名 日本タイ学会 (JATS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮島良明
2. 発表標題 「 転換期を迎えるタイと中国・CLMVの貿易 」
3. 学会等名 日本タイ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮島良明
2. 発表標題 「 インバウンドブームと北海道観光： 訪日外国人観光客急増の背景と今後の課題 」
3. 学会等名 余暇ツーリズム学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤亜聖
2. 発表標題 「 中国の「 一帯一路 」構想 ~ 生産ネットワークとデジタルエコノミーの観点からの考察 ~ 」
3. 学会等名 比較経済体制学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤亜聖
2. 発表標題 「中国と深センのエコシステム」
3. 学会等名 組織学会年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤亜聖
2. 発表標題 「新世紀中国研究の挑戦 - 明治維新 150 年、改革開放 40 年」
3. 学会等名 日本現代中国学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤亜聖
2. 発表標題 「都市のビジネスモデル～都市は経営できるのか～」, 「加速都市の覚醒 中国・深センと改革開放 40 周年」
3. 学会等名 ビジネスモデル学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 亜聖
2. 発表標題 「中国の「一帯一路」構想と日本」
3. 学会等名 日本華人教授会年次総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 助川成也
2. 発表標題 AEC2025の下での物品貿易自由化への取り組み
3. 学会等名 リサーチワークショップ「東アジア経済の課題と展望」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 助川成也
2. 発表標題 「AEC2025の下での物品貿易自由化と円滑化」
3. 学会等名 「AEC2025がASEAN機械工業に与える影響」研究報告会『保護主義の拡大下で更なる統合を目指すASEAN経済共同体2025』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木まき
2. 発表標題 Crisis and Continuity in the Mekong Basin: Intra-regional and Inter-regional Dynamism, Regional and Extra-Regional Conflict
3. 学会等名 British Association of Japan Studies 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大庭 三枝
2. 発表標題 「地域主義・アジアの観点を中心に」
3. 学会等名 日本国際政治学会2018年度大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計13件

1. 著者名 東大社研現代中国研究拠点（+ 末廣昭科研費共同研究班共編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 205
3. 書名 コロナ以後の東アジア：変動の力学	

1. 著者名 伊藤亜聖	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 246
3. 書名 デジタル化する新興国：先進国を超えるか、監視社会の到来か	

1. 著者名 Goto, Kenta, Tamaki Endo, and Asei Ito (eds.)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 281
3. 書名 The Asian Economy: Contemporary Issues and Challenges	

1. 著者名 青木 まき編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5. 総ページ数 122
3. 書名 タイ2019年総選挙：軍事政権の総括と新政権の展望	



1. 著者名 助川成也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 教養社	5. 総ページ数 176
3. 書名 東南アジア（サクッとわかるビジネス教養）	

1. 著者名 Kojima, Michikazu and Shozo Sakata (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 199
3. 書名 International Trade of Secondhand Goods: Flow of Secondhand Goods, Actors and Environmental Impact	

1. 著者名 柿崎 一郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 599
3. 書名 草の根の日タイ同盟：事件史から見る戦時下の日本人とタイ人	

1. 著者名 加藤晋・伊藤亜聖・石田賢示・飯田高編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 254
3. 書名 デジタル化時代の「人間の条件」：ディストピアをいかに回避するか?	

1. 著者名 末廣昭ほか計9名	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学社会科学研究所	5. 総ページ数 xvi + 283頁
3. 書名 『アジアの新たな地域秩序と交錯する戦略：タイとCLMV・中国・日本』	

1. 著者名 Kakizaki, Ichiro	4. 発行年 2020年
2. 出版社 White Lotus (Bangkok)	5. 総ページ数 267
3. 書名 Scramble for Rails: Japanese Military Transport on Thai Railways during World War II	

1. 著者名 遠藤環、伊藤亜聖、大泉啓一郎、後藤健太編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣（有斐閣ブックス）	5. 総ページ数 337
3. 書名 現代アジア経済論：「アジアの世紀」を学ぶ	

1. 著者名 大泉啓一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 文藝春秋（文春新書）	5. 総ページ数 260
3. 書名 新貿易立国論	

1. 著者名 末廣昭、田島俊雄、丸川知雄編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 369
3. 書名 中国・新興国ネクサス：新たな世界経済循環	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	宮島 良明  (Miyajima Yoshiaki)  (90376632)	北海学園大学・経済学部・教授    (30107)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------